

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年4月17日)

➤ **露軍が各正面で攻勢を強め、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続する一方、ウクライナ軍は火砲や砲弾、防空ミサイルなどの不足に直面する中で防御戦闘を継続**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者35.5万人以上 (英国防省24年3月3日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 露国防省は、ドネツク州アウディウカ方面に位置する**ペルヴォマイスケ**村を解放したと発表(4月13日)
- 戦争研究所 (ISW) は、露軍が**チャンプ・ヤール**を獲得すれば、「ウ」防御ラインに位置する南部の「要塞」都市(**ドゥルジュキーウカ**、**コスチャンチニウカ**)を直接攻撃し始めるようになると指摘。また、防御ラインの最南端「要塞」都市である**コスチャンチニウカ**が同ラインから切り離される可能性有と指摘(4月13日)
- シルスキー「ウ」軍総司令官は、乾燥した天候により**戦車が走行可能**となり、**リマン・パフムート**方面で、**露軍が装甲車を用い攻勢を強化**と発言(4月13日)
- 同司令官は、露軍最高指導部が自軍に、**5月9日までにチャンプ・ヤールを占領**するよう命じていると表明(4月14日)
- 「ウ」国防相は、**東部の戦況が緊迫**、**露軍が「ウ」軍陣地の奥深くまで前進**しようとしており、**パフムト西方の突破に専念**していると表明(4月14日)

- 「ウ」は、**ラトビアとの二国間安全保障協定**に締結。ラトビアは、毎年、**GDPの0.25%に相当する軍事支援を「ウ」に提供**する。(4月11日)
- CNNは、米政府高官によると、**中国が露の防衛産業基盤に対する支援を大規模に実施**しており、**工作機械、無人機、巡航ミサイル向けのターボジェットエンジンや技術等**を提供と報道(4月12日)
- 「ウ」軍副総司令官は、**昨年全体の3倍の無人機が、2024年に既に納入**されており、その**99%が「ウ」製**と発言。また、**黒海を掃討した水上無人機が近くアゾフ海も掃討**する、無人機は露の奥深く**1,200km以上の航行が可能**と述べたほか、**砲兵リソースの不足も補っている**旨言及(4月13日)
- ゼレンスキー大統領は、**既存の防空システム用ミサイル・弾丸に加え、防空システム「ペトリオット」、「IRIS-T」、「Skynex」が追加供与**されることに、**ドイツ首相に謝意**を表明(4月13日)
- ゼレンスキー大統領は、**軍への動員をより厳格に行うための法案に署名**(4月16日)
- ゼレンスキー大統領は、**トリピルスカ火力発電所が破壊された理由について、迎撃するためのミサイルを使い果たしていたため**であると発言(4月16日)

- 「ウ」エネルギー相は、露が、**ハルキウ州、ザポリヅジャ州、リヴィウ州及びキエウ州のインフラ施設を攻撃**したと発表。「ウ」電力会社「ツェントルエネルゴ」は、露軍がキエウ州最大の発電所である**トリピルスカ火力発電所を完全に破壊**し、これにより同社は、**発電能力を全て喪失**と表明(4月11日)
- 「ウ」空軍報道官は、上記**火力発電所を破壊**したのは、Kh-59の改良版である**「Kh-69」新型巡航ミサイル**であるが、**「ペトリオット」防空システムで対応可能**と発言。「ウ」メディアは、Kh-69が「ウ」に使用されたのは**5回目**と報道(4月12日)
- 「ウ」メディアは、露軍の「ウ」兵器破壊や爆撃機を支援していた**長距離レーダー「Nebo-U」**(露ブリヤンスク州に位置)を**「ウ」軍が破壊**と報道(4月16日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

